

# 氷見市議会企画総務委員会会議録

令和3年6月23日（水）

氷見市庁舎議事堂委員会室

開会 午前10時00分

休憩 午前11時50分

再開 午後 0時59分

閉会 午後 2時07分

- 1 案 件 令和3年6月定例会において企画総務委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名  
積良委員長、竹岸副委員長、正保委員、萩山委員、谷口委員、嶋田委員
- 3 委員外議員 小清水副議長
- 4 職務のため出席した事務局職員 串田事務局長、舛田事務局次長
- 5 説明のため出席した者の職、氏名  
林市長、篠田副市長、藤澤政策統括官、東軒企画政策部長、萩原秘書広報課長、高野地方創生推進課長、栗屋地域振興課長、布尾新文化施設建設室長、森田総務部長、中尾総務課長、出戸財務課長、三島税務課長ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 4人
- 7 付 託 議 案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
  - ・積良委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
  - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、議案第35号は賛成少数で否決し、その他の案件は全会一致をもって原案を可とすることに決した（主な質疑応答は別紙のとおり）。
  - ・委員会報告の作成は委員長に一任された。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和3年6月23日

氷見市議会企画総務委員長

積良 岳

# 令和3年6月企画総務委員会付託案件表

令和3年6月23日(水)午前10時

氷見市庁舎議事堂委員会室

- ◎ 秘書広報課 10:00~
- ・ 議案第35号 令和3年度氷見市一般会計補正予算(第2号)中  
秘書広報課所管に関する事項……………説明書P 10
- ◎ 地方創生推進課 10:03~
- ・ 議案第35号 令和3年度氷見市一般会計補正予算(第2号)中  
地方創生推進課所管に関する事項……………説明書P 10
  - ・ 議案第48号 第9次氷見市総合計画基本構想の策定について……………議案書P 36
  - ・ 報告第3号 地方自治法第179条による専決処分について……………議案書P 64
- ◎ 地域振興課 10:50~
- ・ 議案第35号 令和3年度氷見市一般会計補正予算(第2号)中  
地域振興課所管に関する事項……………説明書P 10
- ◎ 新文化施設建設室 11:15~ 11:50
- ・ 議案第39号 氷見市芸術文化館条例の制定について……………議案書P 16
- ◎ 総務課 12:59~
- ・ 議案第35号 令和3年度氷見市一般会計補正予算(第2号)中  
総務課所管に関する事項……………説明書P 24
  - ・ 議案第40号 氷見市固定資産評価審査委員会条例の一部改正につ  
いて……………議案書P 24
  - ・ 議案第41号 氷見市個人情報保護条例の一部改正について……………議案書P 25
  - ・ 議案第42号 氷見市行政手続における特定の個人を識別するた  
めの番号の利用等に関する条例の一部改正について……………議案書P 26
  - ・ 議案第49号 富山県市町村総合事務組合規約の変更について……………議案書P 37
- ◎ 税務課 13:16~
- ・ 議案第43号 氷見市税条例等の一部改正について……………議案書P 27
  - ・ 報告第3号 地方自治法第179条による専決処分について……………議案書P 82
- ◎ 財務課 13:23~ 14:07
- ・ 議案第35号 令和3年度氷見市一般会計補正予算(第2号)中  
財務課所管に関する事項……………議案書P 1
  - ・ 報告第3号 地方自治法第179条による専決処分について……………議案書P 40

(注) 一般会計における給与費は総務課の所管です。なお、財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

## 主な質疑応答

<p>地方創生推進課 竹岸委員</p>	<p>第9次氷見市総合計画基本構想の策定について。 総合計画は何を優先して、時代の変化をどのように捉えているのか。</p>
<p>高野課長</p>	<p>人口減少や少子高齢化に対応し、市民の生活が立ちゆかなくなるないように施策を推進していく。</p>
<p>竹岸委員</p>	<p>全国的に人口減少し、人口は都会に流れているが、氷見市に呼び込む目玉はなにか。</p>
<p>高野課長</p>	<p>本市の特徴である食や自然、住みやすさがある。それと今、建設中の新文化施設で、文化にふれる機会が多くなると思うので、若者に理解してもらい、帰ってきてもらえるよう取り組んでいく。</p>
<p>竹岸委員</p>	<p>若者に絞っているのか。</p>
<p>高野課長</p>	<p>若者に限っているわけではなく、重点的にということだ。</p>
<p>萩山委員</p>	<p>SDGs やコロナ対策にも目を配った計画と理解しているが、他の計画はコロナでの影響をブラッシュアップされているのか。</p>
<p>高野課長</p>	<p>国土強靱化地域計画やまちひとしごと創生総合戦略などは見直したところだが、ランドデザイン、福祉計画などは担当課と連携し、コロナを見据えた計画となるよう取り組んでいく。</p>
<p>萩山委員</p>	<p>ランドデザインはコロナ前に策定されたものであり、前提条件が大きく揺らいでいる中で、このまま進めるのか。</p>
<p>高野課長</p>	<p>計画の実施にあたっては、基本計画や実施計画を作成していくが、精査していくことになる。</p>
<p>萩山委員</p>	<p>人の動きが変わっている。ランドデザインありきでは、他に市民に手を差し伸べるべき、愛が失われている。弾力的に運用していくべきだ。</p>
<p>高野課長</p>	<p>基本計画、実施計画において、何が市民のためになるのかを中心に計画をつくっていく。</p>
<p>萩山委員</p>	<p>ランドデザインではワークショップで市民の意見を聞いたかもしれないが、コロナがあった今、市民の意向と違うこともある。大事な総合計画なので市民の意見と乖離がないように進めてほしい。</p>

高野課長	この後、作成にあたっては、担当課だけではなく自治振興委員等と会合を持って意見を吸い上げて反映させていく。
谷口委員	世界農業遺産認定推進事業について。 世界農業遺産の申請を行うかどうか、9月までに方針を決めるとのことだが、9月までに指摘事項をクリアできる見込みはあるのか。漁業者の協力の見込みはあるのか。
高野課長	申請や現地調査では、漁協からも助言や協力を受けた。 水産多面的協議会の美化活動や藻場の育成といった活動にも、理解が広がるよう努めていく。
谷口委員	地域住民への参画の取り組みは何とかなっても、漁業者の参画はハードルになっている。漁業者のメリットは何なのか。観光が優先されている。 市長は責任者に会ったと聞いていたが、9月までの申請に向けての感触はどうか。
林市長	組合長に会ってどう感じているのか聞いた。漁業者のメリットを説明していかなければならない。観光で人が来れば魚価が上がるといった説明をしていきたい。
谷口委員	漁業者の協力を得られているのか感じ取れない。漁業者不在の申請はありえない。9月申請前に議会への説明をいただきたいと思うがどうか。
林市長	事前に説明する主旨はわからないが、逐次説明していく。
谷口委員	各委員会で議会への説明が足りないと指摘している。9月までは時間がない。事前に議会に説明するのか再度聞く。
林市長	やりとりを含めて報告する。9月までに理解が得られるよう努力する。
萩山委員	9月までに理解をえられていなければ再申請はしないということでしょうか。
林市長	漁業者を含め、市民全体の盛り上がりがないと、条件を満たしたことになるので、理解が得られるよう努力していく。
萩山委員	努力はいいが、得られなかった時の覚悟を聞いている。
林市長	今の段階での判断は控えさせていただく。

<p>萩山委員</p> <p>林市長</p>	<p>世界農業遺産を目指して得られなかったら、折角いただいた日本農業遺産にキズがつく。与えられた日本農業遺産のブランドを守っていくことに舵を切っていただきたい。</p> <p>日本農業遺産は県内初で素晴らしい資産である。世界になるともっと素晴らしいことになる。まずは誇りが持てるような気運の醸成が大事だ。</p>												
<p>地域振興課</p> <p>萩山委員</p> <p>栗屋課長</p> <p>萩山委員</p> <p>栗屋課長</p> <p>萩山委員</p> <p>栗屋課長</p> <p>萩山委員</p> <p>栗屋課長</p> <p>萩山委員</p>	<p>定住者受入モデル地域支援事業費について。 市の事業名は定住者となっているが、歳入の補助金名は移住者受入モデルとなっているがなぜか。</p> <p>県の名称が変わったこともあるが、市は移住者に定住をしてもらうことに力を入れているための事業名としている。</p> <p>NPOバス運営推進事業費について。 NPOバスはコロナの影響を受けているのか、路線ごとに教えてほしい。</p> <p>NPO 6 路線の令和 2 年度の年間の利用者実績は (NPO 八代地域活性化協議会)</p> <table data-bbox="630 1097 1013 1187"> <tr> <td>磯辺線</td> <td>6, 936人</td> </tr> <tr> <td>灘浦線</td> <td>3, 583人</td> </tr> </table> <p>(NPO 余川谷地域活性化協議会)</p> <table data-bbox="630 1243 1013 1288"> <tr> <td>基石線</td> <td>7, 164人</td> </tr> </table> <p>(NPO 上庄谷地域協議会)</p> <table data-bbox="630 1344 1013 1478"> <tr> <td>久目線</td> <td>12, 067人</td> </tr> <tr> <td>速川線</td> <td>3, 070人</td> </tr> <tr> <td>熊無線</td> <td>4, 164人</td> </tr> </table> <p>前年度と比べどのような影響があったのか。</p> <p>磯辺線は令和元年度 9, 034人で 2, 000人以上減少している。 加越能バスはもっと落ち込んでいると聞く。</p> <p>経営健全化のための下支えのような市の方策はあるのか。</p> <p>3法人で6路線あり、それぞれやり方が違う。同じようにしていく方法もある。よりよい形になるよう、NPOバス利用協議会で話し合いながら地域と共同してやっていきたい。</p> <p>法人を1つにするという解釈でよいのか。</p>	磯辺線	6, 936人	灘浦線	3, 583人	基石線	7, 164人	久目線	12, 067人	速川線	3, 070人	熊無線	4, 164人
磯辺線	6, 936人												
灘浦線	3, 583人												
基石線	7, 164人												
久目線	12, 067人												
速川線	3, 070人												
熊無線	4, 164人												

栗屋課長	市は協働でやっていくこととしており、市がリーダーシップをとってやっていくのではなくて、住民の方の議論のなかでそうなるということもあるかもしれないということだ。
萩山委員	市も積極的にかかわって持続可能な経営体制にしていきたい。足のない交通弱者は、ワクチン接種で露呈した。タクシー補助などもしているが、交通弱者に対する施策を、コロナ後も見据え、NPOバスに限らず模索していきたい。
林市長	人口減少とともに、利用者の減少もある。市もしっかり努力していく。バス購入への補助は、以前は1台目に限っていたが、議会にお願いし2回目以降も補助するようになった。NPOに限らず、地域の足を確保するため検討していく。
萩山委員	利用者のワクチン接種に際して、NPOバスは便宜を図っているのか。
栗屋課長	運行の時間を守っている。
萩山委員	ワクチン接種の会場までとか、運用していないのか。
栗屋課長	利用者が限定されており、経路の変更は運輸局の許可がいる。
萩山委員	制約があるなら市から監督省庁にお願いするといったことはないのか。
林市長	ワクチン接種にあたり中山間地からの高齢者の移動を協議していただいたが、便数を増やすのは人員の問題で、バス停は運輸局の許可制でもある。詳しい運行ルートは確認していないが、集団接種会場の市民病院のバス停はあるが、いきいき元気館が必要なら検討してまいりたい。
正保委員	島尾駅公衆トイレ整備事業費について。 島尾駅のトイレの整備にあたっては市民に利用しやすいような形にしていきたい。
栗屋課長	決まりがあって、多目的で、バリアフリーで、防犯カメラ・パトランプがあって、洋式であることが求められる。
正保委員	1か所がいいのか、2つ3つある方がいいのか、利便性の観点から検討してほしい。
栗屋課長	議決されれば、自治会を伺い調整したい。

<p>新文化施設建設室</p> <p>萩山委員</p> <p>布尾室長</p> <p>萩山委員</p> <p>布尾室長</p> <p>萩山委員</p> <p>布尾室長</p> <p>萩山委員</p> <p>布尾室長</p> <p>萩山委員</p> <p>布尾室長</p> <p>萩山委員</p> <p>布尾室長</p> <p>正保委員</p> <p>布尾室長</p> <p>正保委員</p> <p>布尾室長</p>	<p>新文化交流施設建設工事における地中障害物について。 コンクリ片の追加の費用については精算することだが、本会議の答弁では「請負契約の中で」と言っていたと思うがどうか。</p> <p>全体工事費の増減の中で精算する。</p> <p>廃材量が設計推定量より多くあったから取りこぼしはなかったとのことだが、多く出たのは解体工事区域以外から出てきたものか、単に推計した量より乖離して出てきたものなのか。</p> <p>多く出たとの表現は、北側エリアで設計推定量と出来高との差があったと考えている。</p> <p>予定数量の誤差の範疇なのか、増えた部分と取れなかった部分の検証がなされているのか、納得できない部分だ。</p> <p>設計の推定量からの誤差の範囲内と考えている。</p> <p>推定量は設計図の中でどこまでをとった数量と検証しているのか。</p> <p>設計推計数量については、延べ床面積に基本的なコンクリート量を算出したもの。</p> <p>立面図等で詳細な指示をした仕様になっていないのか。</p> <p>細かに計算した設計数量とはなっていない。</p> <p>性悪説にたてば、他から持って来たとも考えられるが、ないと思うか。</p> <p>悪質なケース<sup>は</sup>なかったと思っているし、検査もされている。</p> <p>氷見市芸術文化館条例の制定について。 他の施設の利用料金はオープンからか、途中で変更があったものか。</p> <p>現状を載せてあるが、変更の有無のような調査はしていない。</p> <p>利用率を上げるため、利用料金を安くしたのか。</p> <p>平日の午前を基準に1時間1席あたりを算出し今回の料金を設定した。 600席までは9.1円、600席から999席は8.9円で、ここか</p>
---	---

<p>萩山委員</p> <p>篠田副市長</p> <p>萩山委員</p> <p>布尾室長</p> <p>萩山委員</p> <p>篠田副市長</p>	<p>ら8円とした。旧の市民会館は4.7円と倍となるが、他の同規模施設と比べて適正な料金を設定した。</p> <p>この料金を決めるときに一番思いを馳せたことは。</p> <p>使いやすい金額で稼働率を重視した。</p> <p>大きなイベント興行と市民に根付いたものの2分化が必要だ。他施設の運営体制や稼働率はどうか。</p> <p>数年前の聞き取りでは、6館とも指定管理者で、南砺市福野以外は財団で、福野は地元企業が共同体を組んで運営している。県高岡文化ホールの稼働率は70%となっていた。</p> <p>今回決まった名称以外にどんなものがあったか。</p> <p>氷見市ブリリアントホールとか。各委員が10点選んで、3～40点に絞られてきた。オアシスホール、アートアンサンブルホールなどもあったが、子どもたちのホールとしたかったので、教育委員会にお願いして多くの子どもたちの応募があった。</p>
<p>総務課</p> <p>正保委員</p> <p>中尾課長</p> <p>正保委員</p> <p>中尾課長</p> <p>正保委員</p>	<p>〈付託案件外〉</p> <p>行政改革プランの策定について。</p> <p>今年度策定する行革プランのスケジュールは。</p> <p>アドバイザーの名城大学都市情報学部教授 昇 秀樹先生に意見を伺いながら方針を策定中である。中長期財政見通しを踏まえ、8月中には基本計画を策定する。市民懇話会の第1回目を10月に予定し現プランの実績報告と、中長期財政見通しや新プランの基本計画の意見を頂戴する。2月下旬に実施計画を策定し、第2回市民懇話会を開催する。議会には3月の全員協議会で説明する予定としている。</p> <p>その改革の内容は。</p> <p>急速な人口減少や少子高齢化、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等をさまざまな課題に取り組むため、前プラン同様、行財政運営の改革、組織の見直し、公共施設の適正管理、職員の能力向上に取り組み、国が進めるデジタル技術の活用等、持続可能な自治体経営を目指す方針としている。</p> <p>適正な職員数の考え方は。</p>



中尾課長	現プランは時間外勤務削減に取り組み、令和3年度まで542人程度としていたが、新プランでは、引き続き時間外勤務削減に取り組むとともに、市民サービス、災害対応に耐えうる人員を確保しながら、業務の効率化を視野に検討していく。
正保委員	中長期財政見通しでは500人を目標にしていたが、現状では時間外の削減を行っているということでよいか。
中尾課長	現プランではそうだが、新プランは状況の変化を踏まえ考えていく。
正保委員	全国の地方自治体の抱える問題は増え、行政ニーズは増すばかりで、総務省の定数管理のあり方を協議する会議でも職員圧縮は限界とあった。中長期財政見通しでは削減するとして計画であったが、今の考えは。
中尾課長	中長期財政見通しも出ていないので、数字が揃うまで差し控える。
正保委員	マンパワーは必要になる。整備のために収支を合わせるような削減はされるべきではないがいかがか。
中尾委員	働き方改革やデジタル化を取り入れ、効率化を図りながらスリム化もあわせて考えていく。
正保委員	正規職員と非正規職員のバランスや、定年退職者が多いと非正規職員で帳尻を合わせると行政のマンパワーの不足になるともあったが。
中尾課長	新規職員の採用も含め総合的に検討していく。
<b>財務課</b> 嶋田委員  出戸課長  嶋田委員  出戸課長  嶋田委員	<p>補正予算について。</p> <p>市税は、令和2年度は3.2億円の減、令和3年度は4.23億円の減の見込みと言っていたが、中長期財政見通しはどうなるのか。</p> <p>今の中長期財政見通しは11月に報告したもので、令和2年度は決算的には増加している。令和3年度の予定では近い数字と考えている。</p> <p>令和4年度の税収見通しはどうか。</p> <p>最新の情報で作り直していくので、整理して反映させていく。</p> <p>交付税措置の方はどうなるのか。</p>

出戸課長	基準財政収入額は下がってくるが、歳出の基準財政需要額は人口の動向がどう反映されるのか、今年度の交付税の係数が、例年だと7月下旬に示されるので、次の見直しに反映させる。
嶋田委員	税金等を考えると一旦考え直す時が来た。氷見のことを思い、昨日一昨日ときつい質問があったと思う。整備の概算費は把握されているのか。
出戸課長	中長期財政見通しに見込んでいる概算費として、まんが広場は2億円強程度、ひみ発見館は5億円としている。
嶋田委員	教育文化センターの耐震化や空調などの修繕もやらなければならないが、発見館の新築とセンターの改修、どちらを優先するのか。
林市長	ひみ発見館を先に整備し、その後センターの修繕の時は、ひみ発見館に一部機能を移してとりかかりたい。
嶋田委員	基本計画、基本設計を合わせて発注するとしているが、別々に設定し、まず基本計画を市民や議会の意見を聞いてつくり、その後に基本設計に入るべきである。6月に早急な繰越明許費を出さず、12月ぐらいに出すのが手順だと思うがどうか。
林市長	ひみ発見館は都市再生整備計画において、広場及び駐車場整備を令和5年度までに終えなければならず、まず、基本計画のみとし、とりまとめを議会に相談したあと、次に進めていきたい。
嶋田委員	中長期財政見通しに整備はどのように入れていくのか。
森田部長	最終年度には財政調整基金残高が12億円となるようにし、出来なければ、整備を中止または延期する。
嶋田委員	人件費で穴埋めをしないように。
森田部長	現在の計画では40人減らすことになるが、職員に無理がかかるのは間違いない。水曜日金曜日のノー残業デイを4月から厳格にし、2割ほど減ってきている。小さなことを進めながら、効率化していくなかで、削減できるものはしていきたい。
嶋田委員	マンパワーがないと進まない。予算編成方針ではスクラップアンドビルドとっている。スクラップがないと新しい仕事に取り組めないのではないか。

森田部長	一度始めた制度はなかなか止めにくい。特に市民、福祉では難しいところもあるが精査して進めていく。
嶋田委員	コロナ禍で事業者はダメージを受けている。今使うべき予算の検討には柔軟な発想が必要だが市長はどう考えているのか。
林市長	経済は大変な状況であり、市民は不自由な暮らしを強いられている。今までの計画の延長でまんが広場やひみ発見館を、展望台は急遽提案となってしまう。ひみ発見館はまず基本計画のみ実施し、その後、議会と相談させていただく。展望台は市民のコンセンサスが得られていないとのご意見なので、市民アンケートを実施して必要性などの意見を聞き、それらを踏まえ検討し、改めて議会と相談したい。それまで予算は保留する。まんが広場は、これまでまんがのまちづくり推進事業として、北の橋のモニュメントをはじめ計画的に進めてきており、令和5年度にまんがの広場の整備によりまんがのまちづくりの集大成となる。概算事業費は、12月の議会で1億6千万円とっている。今年度に設計をして、中長期財政見通しを踏まえ議会に相談したいと考えている。
萩山委員	これまで「財政規律を守っていく」ということばの次に、標準財政規模の10%の財政調整基金12億円とお約束のように出てくる。これから先12億円がいいのか。財政調整基金は機動性があり、自らの意志で使える大事な財源である。むやみにハコモノに使わず蓄えておけば、市民の安全安心に使うことが出来る。南砺市は合併以来ハコモノを整備せず、国の交付金を待たずに、いち早くコロナ対応していた。今までの常識が常識でなくなる。何が必要で必要でないかを判断し、市民の幸福のためにスクラップをし、新しいものは作らないといった選択肢も入れ判断してほしい。
林市長	市長としてまずやることは市民の命と生活を守る。その後に便利性、快適性が来る。財政力を身に付け、施設整備を取捨選択して取り組んでいく。

個人別賛否一覧（賛否が分かれた議案のみ）

案件名	委員名	自民同志会					無党派
		竹岸	正保	積良	萩山	嶋田	谷口
		秀晃	哲也	岳	峰人	茂	貞夫
議案第35号	令和3年度氷見市一般会計補正予算（第2号）	×	×	—	○	×	×

※「○」は賛成 「×」は反対 「退」は退席 「欠」は欠席

※委員長は表決に加わらないため「—」と表示してあります。